

エネルギー&ファシリティマネジメントサービス(EFaaS)

脱炭素に向けたエネルギー利用や設備導入・運用の最適化を日立はワンストップでサポートします

※EFaaS: Energy & Facility Management Service

お客様の課題

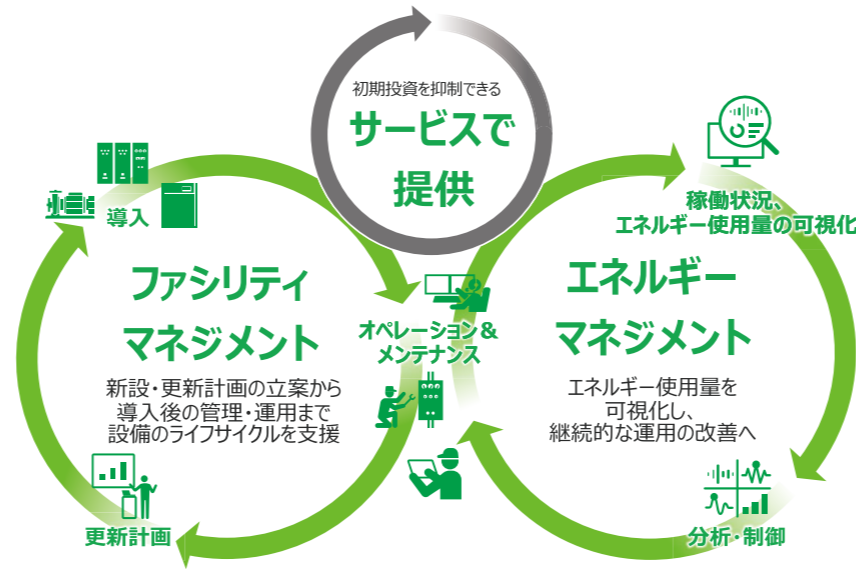
- 脱炭素を進めたいが、設備改善・GX/DXを担う人材確保が困難
- コア業務優先の必要性から、ユーティリティ設備改善への資金投資・人材投資を行う余裕がない

解決策・お客様メリット

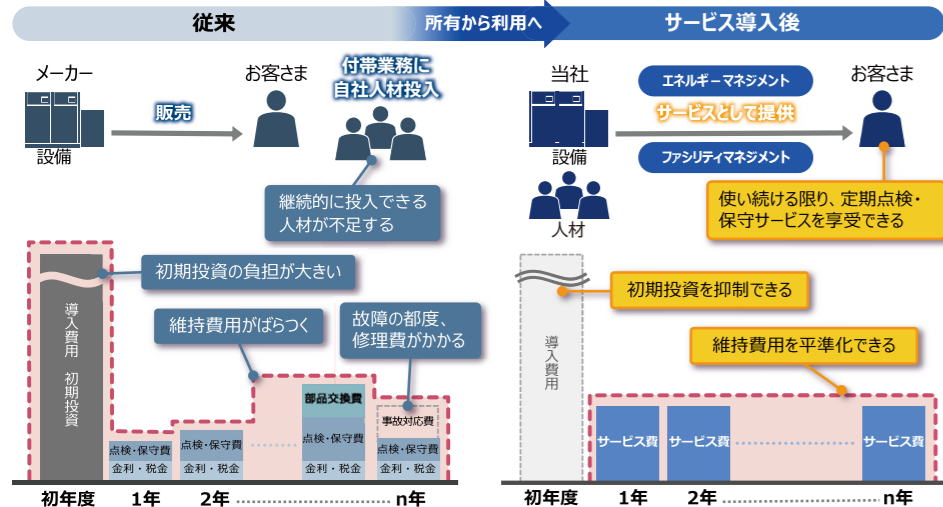
ユーティリティ設備を「保有」から「利用」に転換し、限られた資金・人材を設備改革にシフト

- ユーティリティ設備のGX/DXを as a Service で提供
- 初期投資・設備管理負担の回避でユーティリティ設備の改善を加速
- 運用データ分析で省エネ・保全合理化を継続的に支援

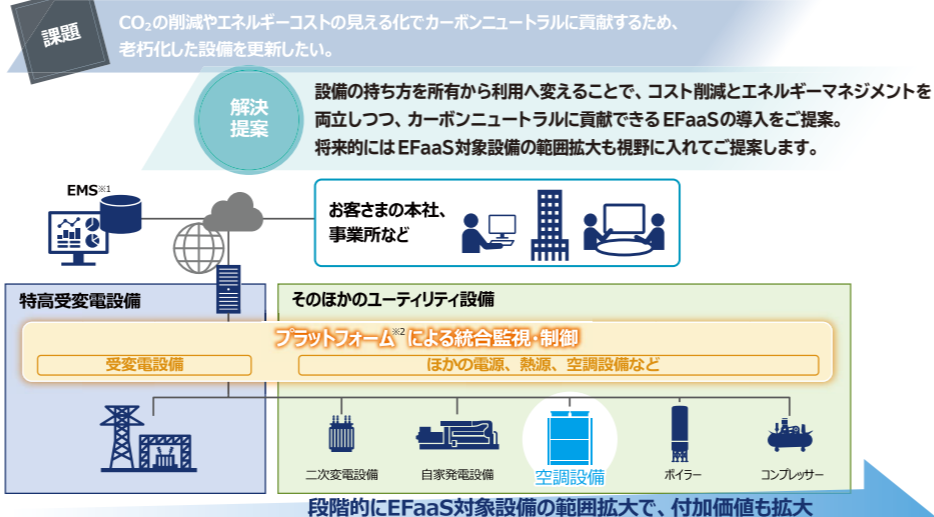
GX: Green Transformation DX: Digital Transformation



EFaaSの導入効果



ご提案事例



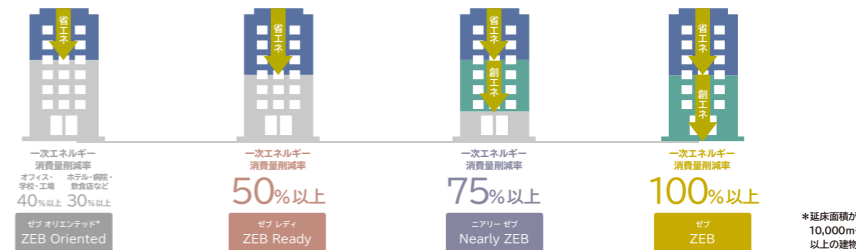
※1 EMS: Energy Management System ※2 エネルギーの運用やファシリティの管理を一元化するためのプラットフォームで、ご依頼内容に合わせてご提案させていただきます。

日立のZEB(ゼブ)ソリューション

ビルオーナーの困り事

- 環境先進企業としてPRしたい
- 不動産価値の高いビルにしたい
- ビルの光熱費を削減したい
- 災害に強いビルにしたい
- 取引先から環境対策を求められた
- 設備更新にあわせ省エネ効果を高めたい

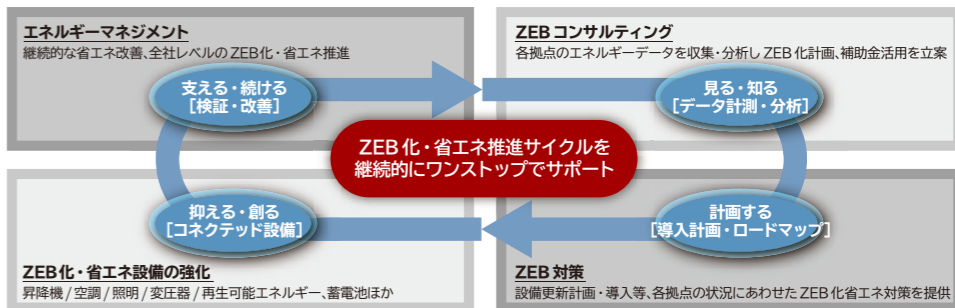
ZEB (net Zero Energy Building) で解決できます



ZEB化によるメリット

- 光熱費の削減による固定費の削減が可能 (光熱費高騰にも強い企業、ビルへ)
- 企業としてカーボンニュートラルやSDGs等の社会要請にも応えられます
- 国から補助金が出ており、活用することで更新コストを圧縮できます

日立の総合力でZEBの推進を継続的にサポートします



ZEB化フロー (日立グループでワンストップ支援)

- STEP 1 ヒアリング
- STEP 2 現地調査
現地調査や設計図書により現状の把握を行います。
- STEP 3 BEI (Building Energy Index) 計算、プランニング
図面と現地調査を元にZEB化が可能か計算します。機器仕様、予算、工法等を取りまとめてご提案します。
- STEP 4 補助金支援
補助金活用の際は関係申請、中間報告、完了報告、成果報告が必要です。申請は日立製作所がサポートします。
- STEP 5 BELS 申請 (建築物省エネルギー性能表示制度)
ZEB認証を得るためには申請が必要になります。外部の認証機関による有償での認定となります。
- STEP 6 施工、お引渡し
日立グループのノウハウを結集し、既設の環境に配慮した施工を行います。

日立製作所では日立グループ製品はもちろん、グループ外の製品でもノウハウを活用し、お客様の省エネに貢献します。



補助金活用

ZEBには補助金の活用が可能です。(諸条件がありますので内容をご確認ください。)

申請主体(執行団体)	補助金名称 (令和4年度実績)
経済産業省 (SII)	ネットゼロエネルギービル (ZEB) 実証事業
環境省 (SERA)	ZEB実現に向けた先進的省エネルギー建築物実証事業
環境省 (SERA)	レジリエンス強化型ZEB実証事業

SII: 一般社団法人 環境共創イニシアチブ
SERA: 一般社団法人 建築物省エネルギー協会

日立製作所は一般社団法人 環境共創イニシアチブ(SII)が実施するZEBフロンティアに登録されました。日立グループでワンストップで支援しますのでご確認ください。